

資料2 前回の導入希望等のアンケート調査 結果

第7回「新たな図柄入りナンバープレートの導入に関する検討会」資料
(令和3年10月29日開催)

○アンケートの目的

「新たな図柄入りナンバープレートの導入に関する検討会」で、地方版図柄入りナンバープレートの制度のあり方を検討するうえでの参考情報とするもの

○アンケート対象者（任意）

全国の都道府県、市区町村（1,788自治体）

○アンケート期間

2021年8月3日（火）～2021年9月3日（金）

○アンケート回答自治体数

584自治体（32.7%）

○アンケートの主な内容

- ・地方版図柄の導入検討状況
- ・ご当地ナンバーの導入検討状況
- ・既存地方版図柄導入地域における図柄の変更及び廃止希望の有無
- ・既存地方版図柄導入地域におけるPRの取組及び課題

・自治体単位別回答者状況

	総数	回答数	回答割合
都道府県	47	25	53.2%
市区町村	1,741	559	32.1%
合計	1,788	584	32.7%

・回答自治体単位別地方版図柄導入状況

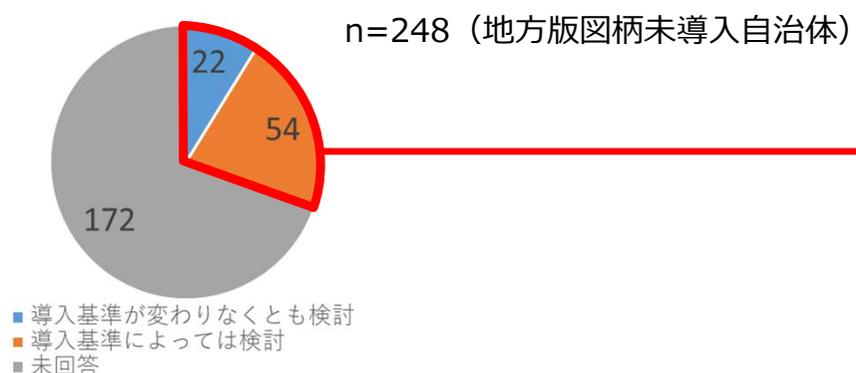
	図柄導入地域	図柄未導入地域
都道府県	17	8
市区町村	319	240
合計	336	248

※都道府県のうち、域内に一部未導入地域が存在するものは「図柄未導入地域」として集計

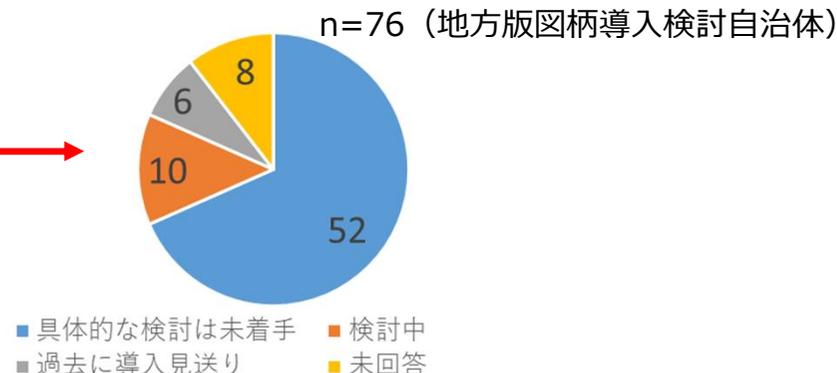
ご当地ナンバーは50の自治体、地方版図柄は76の自治体が検討と回答。
 うち、ご当地ナンバーでは44団体、地方版図柄では54団体は「導入基準によっては検討」と回答。なお、ご当地ナンバー導入の検討意向を有する自治体の多くは、従前の単独市区町村の登録車保有台数基準（10万台以上）を満たしていない（45/48市区町村）。

○地方版図柄の導入検討状況

(1) 地方版図柄の導入検討状況（選択肢）

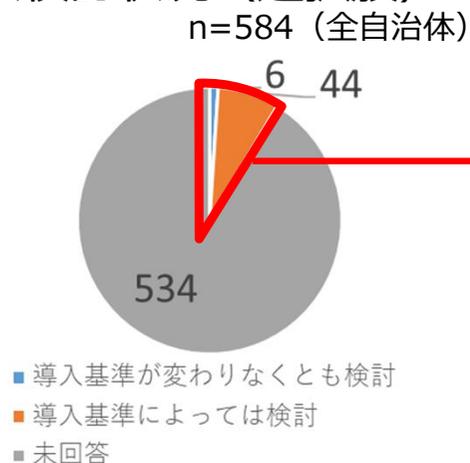


(2) 現在の検討状況（自由記述）

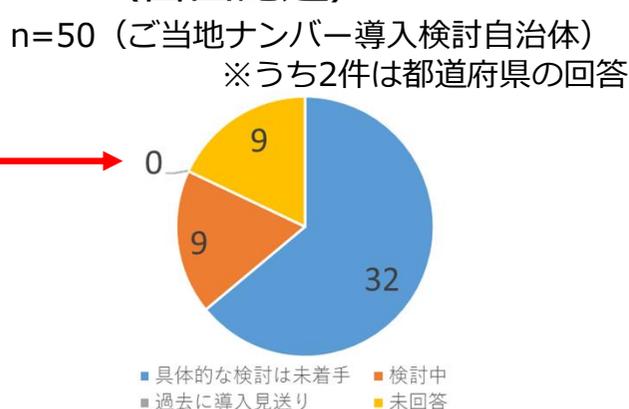


○新たな地域名表示（ご当地ナンバー）の導入検討状況

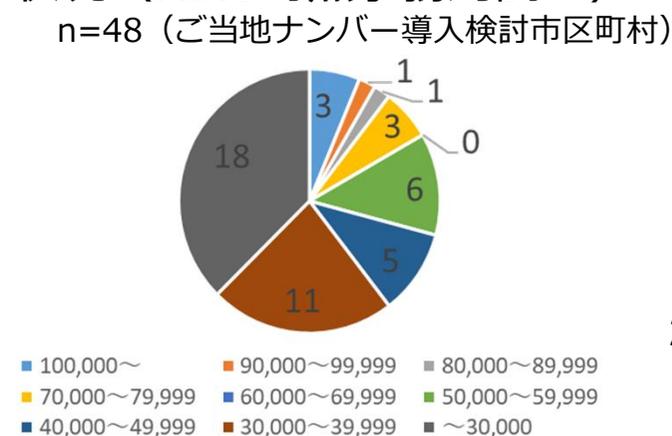
(1) ご当地ナンバーの導入検討状況（選択肢）



(2) 現在の検討状況（自由記述）



(3) 導入検討自治体の登録車保有状況（R3.3時点事務局調べ）



図柄の変更・廃止の希望について、ほとんどの自治体は地域住民からの要望等を受けていないことから希望はないと回答（図柄変更希望は4件。図柄廃止希望は0件）。また、今後のPR取組予定について、半数を超える自治体（約54%）は予定はないとしている。なお、PR上の課題では新型コロナウイルスによる広報手段の限定等を挙げた。

○既存地方版図柄導入地域における図柄の変更及び廃止希望の有無

(1) 図柄の変更・廃止希望状況（選択肢）

n=336（既存地方版図柄導入自治体）



(2) (1) で変更を希望した理由（自由記述）

- ・ 申込件数が伸び悩んでいるため（2件）
- ・ 住民から図柄の微修正の要望が多いため（1件）
- ・ 他地域が描かれた図柄は推進しづらいため（1件）

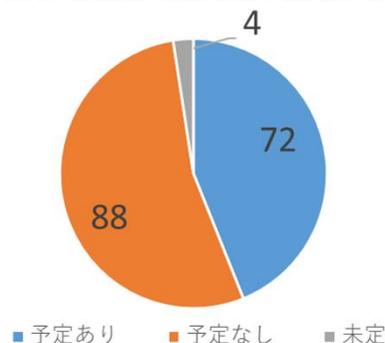
(3) (1) で予定はないとした主な理由（自由記述）

- ・ 住民からの要望や問い合わせなど、理由になるものがないため（106件）
- ・ 普及が進んでいるため（21件）
- ・ 導入して間もないため（13件）

○既存地方版図柄導入地域におけるPRの取組と課題

(1) 今後のPR取組予定（選択肢）

n=164（既存地方版図柄導入自治体回答者）



(2) PR上の主な課題（自由記述）

- ・ 新型コロナウイルスにより広報手段が限られる（29件）
- ・ PR費用がない、かけづらい（5件）
- ・ 話題性や住民の関心が低い（3件）
- ・ 交付手続きに係る問い合わせを自治体から回答できない（3件）
- ※特になし（79件）

導入基準について

(市区町村)

- ・ご当地ナンバーの台数基準を緩和していただきたい。
- ・現在のご当地ナンバーの台数基準は人口が多い地域が優遇されて導入できる基準であり、地域振興や観光振興が本当に必要な地域が利用できない。
- ・ご当地ナンバーの対象地域を追加できるようにしていただきたい。
- ・ご当地ナンバー導入時に想定される地域のまとまりが複数の運輸支局の管轄地域にまたがっており、導入が困難(※)。

※事務局補足：複数の運輸支局の管轄にまたがる地域でのご当地ナンバー導入実績あり(富士山、知床)

その他

(市区町村)

- ・ご当地ナンバー導入地域では、自動車ユーザーが既存の地域名とで選択できるようにしていただきたい。
- ・ご当地ナンバー導入に向け、県がリーダーシップを発揮していただけるのを期待する。
- ・ご当地ナンバー導入に伴う課税事務コスト増加の観点も踏まえるべき。

合意形成及び導入できる図柄デザイン数について

(市区町村)

- ・ 自地域は広域にわたるため、地方版図柄導入に際しての全自治体の合意形成や、地域住民の意向・地域の特色を踏まえた図柄選定等が困難。
- ・ 1地域に複数(自治体ごと)の図柄デザインを導入できると良い。

募集時期について

(市区町村)

- ・ 今回の導入を見送った場合、次回の募集時期等の見通しを示していただきたい。
- ・ 地方版図柄導入申込を随時受け付けてほしい。

寄付金について

(都道府県)

- ・ 寄付金活用事業実施には、協議会設立等クリアしなければならない要件が複数あり、ハードルが高い。

(市区町村)

- ・ 寄付金活用事業の手続きの簡素化や要件緩和をしていただきたい。
- ・ 寄付金活事業の実施期間を延長していただきたい。
- ・ 寄付金活用事業の対象事業を拡大していただきたい(※)。
※事務局補足：特定の用途を想定したものでなく、対象事業が拡大されれば協議会でより議論しやすくなるという趣旨
- ・ 少額な寄付金で実現できることは少ないため、国や都道府県等大きな単位でのスケールメリットのある事業に寄付金を活用できると良い。
- ・ 寄付金を寄付金管理団体経由でなく、直接地域の協議会等に入るようにしていただきたい。
- ・ 寄付金活用事業の参考にするため、国の動向や各地域での活用検討状況等を共有いただきたい。

普及促進方策について

(都道府県)

- ・ディーラー等における情報提供が不足している印象がある。
- ・検討会では、「自治体への導入後のペナルティがないので何らかの対策が必要」とする意見もあったようだが、一方的にペナルティを課すことは、地域の魅力の否定とも取られかねず、運用が難しいように思われる。

(市区町村)

- ・交付代行手数料が高い(助成があると良い)。
- ・若者にも興味を持ってもらえるような図柄デザインにする必要がある。
- ・単独自治体で構成できない地方部では、汎用性の高いデザイン、名称でないと利用率が上がらないのではないかと。
- ・運輸支局まで行かなくとも図柄入りナンバーの交付が受けられると良い。